



富山県造形教育連盟会報「糸」について
富山県造形教育連盟は、幼、小、中、高の先生方が参加する、県芸術文化協会に加盟の文化振興の任意団体です。造形活動で大切にしたい発達段階という縦のつながりを考えることができる研究組織です。各校種の研究団体の横糸と、県造連の縦糸により、造形教育という織物が美しくつくり出されることを願い、会報を「糸」発行しました。本連盟の会員限定ページにて公開します。

子供の造形作品に込められた思いや願い 富山県造形教育連盟 副会長 宮林 克人

先日、第3回「わたしたちの夢のトラック」絵画コンクールの審査に行ってきました。船木英明校長先生と一緒に審査をしました。「こんなトラックがあったらいいな」という夢のトラックを思い浮かべ、心を躍らせ丁寧に描いた作品が多く、審査に苦労しました。作品の造形性はもちろん素晴らしいのですが、絵に込められた子供たちの思いや願いが素敵で感動しました。いくつか紹介します。

2年生の「ぶんぼうぐトラック」は、鉛筆削りのフォルムをしていてタイヤは消しゴム。走りながら道を浄化し、カラフルな色鉛筆で町を鮮やかに楽しく描いていくトラックです。素敵な発想です。町を明るくしたいという思いが込められています。5年生の「ふわりふわりしゃぼん玉トラック」は、ふわりと宙に浮き、たくさんのプレゼントをシャボン玉に入れて届けます。透明感と淡い色彩で質感を見事に表現し、プレゼントを届けて人々を笑顔にしています。

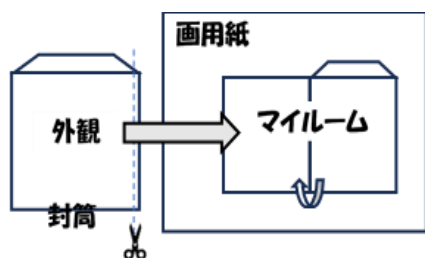
優秀作品 16 点は実際にトラックにラッピングされ、町を走ります。今後、どこかで見かけるかもしれませんね。子供たちの造形にこもる思いや願いをこれからも大切に感じ、味わいたいと思います。

造形教材研究会での題材紹介

「ふうとうからマイハウス」

富山市立堀川小学校教諭 横道 直

子供も大人も鑑賞するのが楽しくなる題材です。図のように、封筒を切り開けるようにし、封筒の外側にマイホームの外観、内側に夢のマイホームを描きます。マイホーム封筒を画用紙に貼り付ければ、ほぼ完成！子供たちはきっと画用紙にも家の周りを描きたくなるでしょう。封筒の種類も豊富で、古封筒ならSDGs！子供たちと一緒に、夢のマイホーム、叶えてみませんか？



実践紹介

高岡市立木津小学校 新鞍 香

第1学年「ながーいかみから」の実践では、子供たちがこれまであまり使用したことのない長い紙という形との出会いから、どのようなものを描くことができるのか考え、試す中で、見付けたり思い付いたりする力を培うことをねらいとした。

導入では、四つ切り画用紙を縦半分にした細長い形の紙が入れ物から出てきたところを見て、「細いものしか描けない！」「でも、電車を描いたらちょうどいい」などの声が挙がった。電車や車の行列のように長く続くもの、梯子のように上に向かって高く伸びるもの、フルーツが積み上がるパフェ等、長い紙の特徴を生かして楽しく発想して絵を描くことができた。さらに、作品ができ上がると、「〇〇さんの梯子をのぼったら〇〇さんのビルについてのようにしたいな」「ジェットコースターや遊具とフルーツの木を集めて遊園地になりそう」と、子供同士が自然に関わりをもって鑑賞しながら、更に想像を膨らませる姿が見られた。

いつもの画用紙と違う長い紙という材が、子供の発想や構想を刺激し、どの子供もイメージをもって楽しみながら対象に関わることに繋がった。



おすすめの読書紹介

「超芸術トマソン」著：赤瀬川原平（白夜書房）

富山市立西部中学校 正橋 潤

資本主義の社会に作られてある工業製品は、押し並べて誰かの役に立つ機能をもたせられている。例えば階段は、高さの異なる床面同士を連絡する通路としての役割があるし、扉は、内と外を隔てる壁という役割を果たしている。役割を果たす機能が、その物の存在価値を担保している。1972年、友人と共に四谷界隈を歩いていた著者は、ある旅館の壁面にどこにも繋がらずただ昇って降りるだけの階段を発見した。改築の際、費用の問題から取り壊されないうえそのままになっているであろうこの階段の純粋性に、著者は芸術的価値を見出し、後に「超芸術トマソンI号」と命名した。

本校はこの3月に新校舎が完成する。役割を失いながら機能だけが取り残された旧校舎の構造物、即ち「トマソン」を見付けられるかもしれない。来年度早々に、生徒と共に敷地内を是非探索してみたいと考えている。



〈随想〉鏝絵って何？

富山県立雄峰高等学校 松崎 洋子

鏝絵(こてえ)とは、左官職人が鏝をかついて民家や土蔵の壁に漆喰によって施した彩色レリーフのことで、絵柄には縁起物や花鳥風月がある。今はこの鏝絵制作を授業の題材として取り入れている。

生徒たちは鏝絵の材料である漆喰や道具の鏝が物珍しいようで、制作中は楽しそうだ。鏝絵を授業に取り入れることで、日本の伝統文化の伝承と継承の一役を担うことにつながればよいと思う。